



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では16名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、はにぽんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>

て意味を持つ。史学専攻者として①旧本庄警察署をパネル展等で活用し内部公開しては②歴史と教育のまちとして、本年で100年の関東大震災・朝鮮人事件(市史)」展示を企画し市民のリテラシー向上を図つては③本市出身である塙先生の生家の活用構想は④近世を専門とする学芸員の採用で江戸時代の研究と展示の充実を、以上4点提案するが、市の考えを承りたい



企画展・特別展で旧本庄警察署の活用を

展示施設や学芸員について、できる範囲で取組を進めます

（文化財保護課）

【その他の質問】

- ・五歳児死体遺棄事件と検証
- ・委員会をめぐつて
- ・2050 ゼロカーボンシティ実現にむけた取組みについて

設産業常任委員長と関係する神川町役場、藤岡市役所に出向きました。神川町役場では、現在の254号の藤武橋は、土、日、休日は渋滞がひどく、平日でも朝、夕方は渋滞で困っている。藤岡市役所では、公立藤岡総合病院の患者は、埼玉県の方が3割を占めていると伺いました。国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進期成同盟会の現状と今後の予定を伺います。

国道254号は、多様な機能を有することから交通が集中し、特に県境の藤武橋を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。

国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進期成同盟会は平成27年12月に藤岡市を会長とし、本庄市、神川町の2市1町で、各首長、議長、関連する常任委員会の委員長の9名で設立されました。埼玉県群馬県の両県へ、国道254



国道254バイパス起点部(吉田林)

費用の算定、コスト縮減方策、費用対効果の分析などについて調査研究をしていきます。いずれにしても、神流川に新橋を架ける必要があり、多くの課題がある一方で、地域額の整備費用がかかるなど医療の充実、産業活動の活性化などの効果も期待できるところから、今後も両県へ要望活動を行っていきます。

（道路管理課）

【その他の質問】

・児玉駅及び周辺整備について

・本市との姉妹都市について

歴史と教育のまち・歴史と文化の薫るまち 実現にむけて

国道254号本庄藤岡間 バイパスについて

市で管理している公共施設の総数は、令和4年度末時点で109施設です。また、耐用年数を経過した公共施設は、令和4年度末時点で6施設です。このうち木造の市営住宅は随時修繕・改修等を行い、日常的に安全を確保し使用しています。なお、入居者が退去した後は、建物の用途廃止を行い解体することとしています。

公共施設の現状と 今後の取り組みについて



本庄スバル製造有限公司

公共施設の現状と 今後の取り組みについて

本庄市の住宅施策について 市議団きせき代表 巴 高志

老人福祉センターつきみ荘は、大規模改修や他施設との複合化等検討すべき時期を迎えています。審議会や市民の皆様のご意見を伺い、具体的な方針を検討していきます。

【その他質問】

・児童生徒の安全対策の取り組みについて

（企画課）

答 本市では、公営住宅法による市営住宅15団地554戸を管理運営し、低額所得者、高齢者、子育て世帯等の入居を促進しています。市営住宅への通常世帯の入居については、市内に在住又は在勤であること、収入月額が15万8千円以下であることなどが主な要件です。

住宅と福祉との連携について、低額所得者、高齢者、障害のある人などの住宅確保要

本庄市の住宅施策について
市議団きせき代表 巴 高志

近年の超高齢化・地域環境問題の深刻化は、国内の住宅施策にも影響を与えています。従来のモノを対象とした住宅施策から、生活というソフトを組込む新たな住宅施策（居住施策）は、自治体の各部所が、従来の縦割り行政体系から福祉医療など生活を取巻く政策領域との連携・協働による新たな施策展開が求められています。本庄



- ・本庄市のふるさと納税への取組について
- ・本庄市におけるマイナンバーカードの利用について

配慮者世帯の住宅供給については、福祉との連携をよめ



（環境推進課・水道課） 【その他の質問】 ・特定健康診査（集団）について

4年1月をもつて埼玉県による調査を終了しています。本市では、令和3年度以降の水質検査について原水は年2回、浄水は年1回実施し、暫定目標値を超えたことはない状況です。今後の市の対応について、本市の水道水の水質検査の結果では、適合となっていますが、原水、浄水のいずれからもPEFOS及びPFOAが微量ですが検出されています。皆さんに安心してご使用していただきため、国や県の動向等を確認しながら、水質検査の重要性を職員等に再認識させ継続的に検査を実施し、更なる水質の監視を努めています。

性化やその地域の発展及び振興を図るために設置したものです。しかし、中心市街地の空洞化や後継者の不在など、街路灯を維持管理する組織の存続が危ぶまれています。既存の商店会にアンケート調査を実施したところ、短期・長期を含めて維持管理が困難であるという回答が多くありました。今後、かつて商店会が



まちを静かに照らす街路灯

【その他の質問】 ・本庄版スーパー・シティープロジェクトについて

管理していた街路灯も含め、現状の把握と情報交換に努めています。また、撤去に関する補助制度も他市の事例を参考に研究していきます。

商店街街路灯は、商店街を明るくするだけでなく、防犯としての側面も有していると認識しています。ご質問の商店街街路灯から防犯灯への切り替えは、灯具の違いや設置基準、施設の老朽化等の問題、また防犯灯とすることで管理が自治会へ移管となり、自治会の負担が大きくなるなどの課題があることから、自治会の意見も伺いながら、他自治体の状況等を含め検討していきます。

答
旭小学校の通学路について
旭小学校の通学路を通る児童の安全確保について地元から心配の声が上がっています。旭小学校の校長も着工前から視察を行ない、工事現場の方に対しても十分安全に配慮して工事を行なうことを依頼しています。



【その他の質問】
・教科書採択について
・関東大震災から100年

ては学校応援団、スクールガードリーダー、民生・児童委員等の地域の皆様のご協力により、自治会単位での交通安全ボランティア通称見守り隊が組織されています。さらに月に1度の全校一斉下校時や見通しの悪い交差点等で教員による交通安全指導等を行っています。ホテルのオープニング後は通行車両の増加等も予想され、地域の皆様と引き続き連携し、通学路の安全確保に関する指示・指導を徹底していきます。

問 保険会社の調べによると自分がなりたくな
い病気ランキングで認知症が第1位。ならば予防が1番と
考える。危険因子のヒアリングフレイル、オーラルフレイ
ルについて検診を実施してはどうか。またウォーキングなど有酸素運動に認知症の原因のアミロイドβの蓄積を防ぐ効果がある。スマートフォンを持つて歩く、そこにポイントを付与するウォーキングポイントの導入はどうか。

An illustration of a group of four people walking together. In the front, a young man and woman are walking side-by-side. Behind them, an elderly man and woman are also walking together. They are all smiling and appear to be in a good mood. The style is a simple, colorful cartoon.



の5歳刻み、また73歳の方に実施しています。4月にがん検診等の案内の中に、該当者に受診券を送付して周知しています。一方で定期的な口腔内の検診を受ける方もおり、このように自ら定期的なメンテナンスを受ける人が増えることにより認知症の予防につながることを期待しています。

市民の健康寿命を延ばすサポートのため、関係各課と調整し、はにぽんチャレンジ事業を実施しています。新たにウォーキングイベント等の計画があれば、積極的に対象事業としたいと考えています。

スマートフォンを活用したボ

本庄市の婚活への 取り組みについて



の参加があり、17組のカップルが誕生しています。またコロナ禍ではオンライン婚活イベントの開催、本年2月にはタブレット端末を活用するなど、工夫に努めています。本市独自の支援ということですが、本市としては単独で婚活支援を実施するよりも専門的なノウハウを持つた本庄センターや県北7市町協議会と連携を図り行つていくことが現状では適当と考えています。ふるさと納税は本市独自の財源と考えており、婚活支援に取り組む中で、財源となることもあります。

水の安全性について

